

2021年2月9日

上場会社名 株式会社テレビ朝日ホールディングス  
 コード番号 9409 URL <https://www.tv-asahi.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長・CEO (氏名) 早河 洋  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理局長 (氏名) 小林 直治  
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 03-6406-1115

(百万円未満切捨)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	190,627	14.0	9,056	16.2	12,410	57.9	7,768	68.6
2020年3月期第3四半期	221,539	2.2	10,803	22.6	29,457	80.4	24,759	123.7

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 19,193百万円 (15.3%) 2020年3月期第3四半期 22,672百万円 (82.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	74.96	
2020年3月期第3四半期	231.71	

(注) 前連結会計年度末において、東映株式会社の株式を追加取得したことに係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2020年3月期第3四半期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	452,670	364,080	80.2
2020年3月期	447,549	352,518	78.5

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 362,995百万円 2020年3月期 351,463百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		20.00		20.00	40.00
2021年3月期		20.00			
2021年3月期(予想)				20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	262,000	10.8	12,000	4.5	15,000	53.2	11,000	58.3	106.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、[添付資料] P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期3Q	108,529,000 株	2020年3月期	108,529,000 株
------------	---------------	----------	---------------

期末自己株式数

2021年3月期3Q	6,476,080 株	2020年3月期	4,556,957 株
------------	-------------	----------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期3Q	103,637,800 株	2020年3月期3Q	106,853,802 株
------------	---------------	------------	---------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・上記の予想は、当社が本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は、環境の変化により異なる結果となることがあります。業績予想の前提につきましては[添付資料] P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・四半期決算補足説明資料は、2021年2月9日(火)に当社ホームページに掲載いたします。

[添付資料の目次]

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	P. 8
(追加情報)	P. 8
(セグメント情報)	P. 9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

東映株式会社の株式の追加取得について前第3四半期連結会計期間に暫定的な会計処理を行っていましたが、前連結会計年度末に確定したため、前年同四半期連結累計期間との比較・分析にあたっては、暫定的な会計処理の確定による見直し後の金額を用いております。

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の日本経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況となっております。テレビ広告市況におきましても、東京地区のスポット広告の出稿量が前年同期を大幅に下回るなど、引き続き厳しい状況となりました。

このような経済状況のなか、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,906億2千7百万円（前年同期比△14.0%）、売上原価、販売費及び一般管理費の合計が1,815億7千1百万円（同△13.8%）となりました結果、営業利益は90億5千6百万円（同△16.2%）となりました。また、経常利益は124億1千万円（同△57.9%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は77億6千8百万円（同△68.6%）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### ①テレビ放送事業

タイム収入は、アドタイザーの宣伝活動において柔軟性と効率性を重視する動きから、引き続き固定費削減傾向がみられ、レギュラー番組のセールスでは減収となりました。単発番組につきましては、2夜連続ドラマスペシャル「逃亡者」などで増収を図ったものの、前年同期の「世界野球プレミア12」や、開局60周年記念番組である5夜連続ドラマスペシャル「山崎豊子 白い巨塔」「世界水泳韓国・光州 2019」などの反動により、減収となりました。以上の結果、タイム収入合計は563億8千8百万円（前年同期比△12.3%）となりました。

スポット収入は、東京地区の広告出稿量が新型コロナウイルス感染症の影響で、前年同期を大幅に下回ったことなどから減収となりました。業種別では、「官公庁・団体」「家庭用品」は好調でしたが、「交通・レジャー」「金融・保険」「情報・通信」など多くの業種で減収となりました。以上の結果、スポット収入は550億2千2百万円（同△19.5%）となりました。

また、BS・CS収入は183億6千3百万円（同△6.8%）、番組販売収入は98億4百万円（同△1.1%）、その他収入は150億3千万円（同△13.6%）となりました。

以上により、テレビ放送事業の売上高は1,546億9百万円（同△13.9%）、番組制作費の減少などにより営業費用は1,479億7千万円（同△14.7%）となりました結果、営業利益は66億3千8百万円（同+7.0%）となりました。

#### ②音楽出版事業

前年同期に開催した「ケツメイシ」のコンサートツアーの反動減や、新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、「ソナーポケット」「湘南乃風」のコンサートツアーの中止・延期などにより、音楽出版事業の売上高は46億6千1百万円（前年同期比△44.1%）、営業費用は41億9千8百万円（同△43.2%）となりました結果、営業利益は4億6千3百万円（同△51.2%）となりました。

③その他事業

通販番組「じゅん散歩」の好調な視聴率を背景に、ヒット商品にも恵まれ、ショッピング事業が増収となりました。一方、新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、「テレビ朝日・六本木ヒルズ夏祭り SUMMER STATION」の中止など、イベントの中止・延期が相次いだことにより、イベント事業が減収となりました。

以上により、その他事業の売上高は409億3千3百万円（前年同期比△5.7%）、営業費用は389億7千9百万円（同△1.8%）となりました結果、営業利益は19億5千4百万円（同△47.3%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末比51億2千万円増の4,526億7千万円となりました。これは、現金及び預金が180億5千1百万円減少したものの、投資有価証券が197億9千4百万円、有価証券が55億9千4百万円増加したことなどによります。

負債合計は、前連結会計年度末比64億4千1百万円減の885億8千9百万円となりました。これは、未払金などの減少により流動負債の「その他」が91億3千8百万円減少したことなどによります。また、純資産合計は、前連結会計年度末比115億6千2百万円増の3,640億8千万円となりました。これは、その他有価証券評価差額金が110億8千4百万円増加したことなどによります。この結果、自己資本比率は80.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染症の拡大は、依然として当社グループの事業環境に多大な影響を与えているものの、テレビ広告市況は段階的な回復傾向がみられます。2021年3月期の連結業績予想につきましては、タイム収入、スポット収入が前回予想（2020年11月12日公表）を上回る見通しであることや、引き続きコストコントロールに努めていることなどから、売上高、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益は、いずれも前回予想を上回る見通しであります。

2021年3月期通期連結業績予想数値の修正(2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	255,000	5,000	8,000	6,000	57.70
今回発表予想(B)	262,000	12,000	15,000	11,000	106.56
増減額(B-A)	7,000	7,000	7,000	5,000	
増減率(%)	2.7%	140.0%	87.5%	83.3%	
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	293,638	12,565	32,048	26,398	248.58

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	39,534	21,483
受取手形及び売掛金	74,417	69,022
有価証券	17,405	22,999
たな卸資産	11,791	14,518
その他	12,455	14,079
貸倒引当金	△71	△670
流動資産合計	155,532	141,432
固定資産		
有形固定資産		
土地	46,438	46,438
その他(純額)	60,782	57,675
有形固定資産合計	107,221	104,114
無形固定資産		
その他	6,651	9,122
無形固定資産合計	6,651	9,122
投資その他の資産		
投資有価証券	155,951	175,745
その他	22,448	22,511
貸倒引当金	△256	△256
投資その他の資産合計	178,144	198,001
固定資産合計	292,016	311,237
資産合計	447,549	452,670
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,934	6,998
その他	54,693	45,554
流動負債合計	63,627	52,552
固定負債		
退職給付に係る負債	19,120	18,909
その他	12,282	17,127
固定負債合計	31,403	36,036
負債合計	95,030	88,589

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	36,654	36,665
資本剰余金	70,427	70,438
利益剰余金	235,961	239,401
自己株式	△9,343	△12,667
株主資本合計	333,699	333,837
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	23,240	34,325
繰延ヘッジ損益	△88	△62
為替換算調整勘定	△124	△240
退職給付に係る調整累計額	△5,264	△4,865
その他の包括利益累計額合計	17,763	29,157
非支配株主持分	1,055	1,085
純資産合計	352,518	364,080
負債純資産合計	447,549	452,670

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	221,539	190,627
売上原価	164,101	141,308
売上総利益	57,438	49,318
販売費及び一般管理費	46,634	40,262
営業利益	10,803	9,056
営業外収益		
受取配当金	1,397	1,278
持分法による投資利益	17,023	1,996
その他	333	276
営業外収益合計	18,755	3,551
営業外費用		
為替差損	15	74
固定資産廃棄損	69	77
その他	16	45
営業外費用合計	101	197
経常利益	29,457	12,410
特別利益		
投資有価証券売却益	310	-
特別利益合計	310	-
特別損失		
投資有価証券評価損	171	-
貸倒引当金繰入額	-	603
新型コロナウイルス感染症による損失	-	344
特別損失合計	171	948
税金等調整前四半期純利益	29,596	11,462
法人税等	4,726	3,663
四半期純利益	24,869	7,798
非支配株主に帰属する四半期純利益	110	29
親会社株主に帰属する四半期純利益	24,759	7,768



四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	24,869	7,798
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,406	9,454
繰延ヘッジ損益	△184	26
為替換算調整勘定	△13	△18
退職給付に係る調整額	356	393
持分法適用会社に対する持分相当額	51	1,537
その他の包括利益合計	△2,196	11,394
四半期包括利益	22,672	19,193
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	22,562	19,163
非支配株主に係る四半期包括利益	110	29

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(追加情報)

(持分法による投資利益)

東映株式会社の株式を追加取得し持分法を適用したことに伴って発生した負ののれん相当額について、前第3四半期連結会計期間において暫定的な会計処理を行っていましたが、前連結会計年度末に確定しております。

この暫定的な会計処理の確定に伴い、当第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に含まれる比較情報において暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。この結果、負ののれん相当額は554百万円増加しております。

(セグメント情報)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	テレビ放送 事業	音楽出版 事業	その他 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	177,184	8,169	36,185	221,539	—	221,539
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,473	169	7,224	9,867	△9,867	—
計	179,657	8,338	43,409	231,406	△9,867	221,539
セグメント利益	6,203	949	3,711	10,864	△60	10,803

(注) 1. セグメント利益の調整額△60百万円は、セグメント間取引消去△100百万円、当社における子会社からの収入1,617百万円及び全社費用△1,577百万円であります。全社費用は、主に提出会社のグループ経営管理に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	テレビ放送 事業	音楽出版 事業	その他 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	151,990	4,498	34,138	190,627	—	190,627
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,618	163	6,795	9,577	△9,577	—
計	154,609	4,661	40,933	200,204	△9,577	190,627
セグメント利益	6,638	463	1,954	9,056	0	9,056

(注) 1. セグメント利益の調整額0百万円は、セグメント間取引消去△67百万円、当社における子会社からの収入1,632百万円及び全社費用△1,564百万円であります。全社費用は、主に提出会社のグループ経営管理に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。